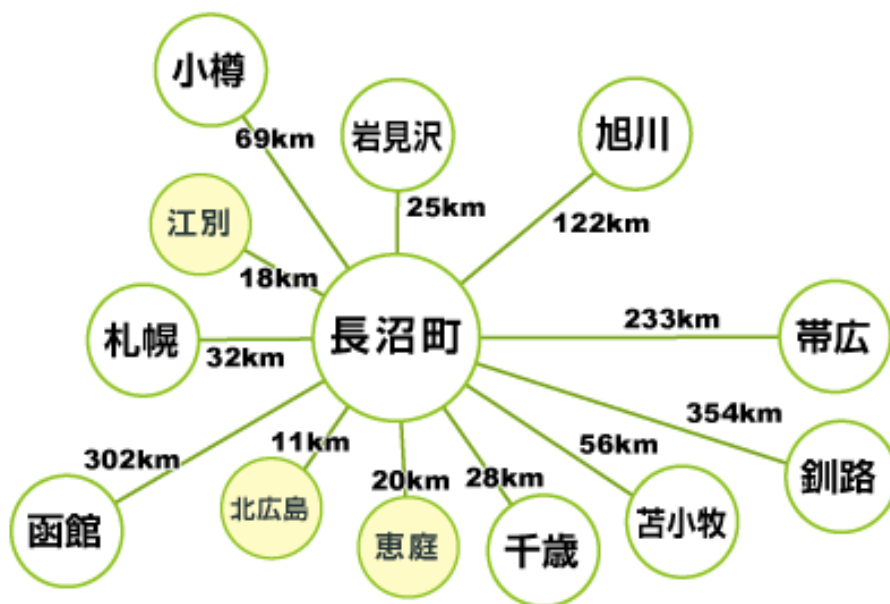


0) 長沼町の概要

【近郊都市との距離感】



<長沼町の位置、地勢>

・北海道の中央部、全道人口の半分に相当する約250万人の交流人口を擁する道央圏に位置



- 札幌市、新千歳空港から近傍でありながら、町内のほとんどが農村風景
- 生産されている農産物の種類が、道内でも屈指の豊富さ
- 主産品のコメを加工したどぶろく特区 (道内第1号)
- 新千歳空港発着便の増加が見込まれており、首都圏との移動が容易
- ヨーロッパ直行便 (フィンエアー、ヘルシンキ便、通年運航) が就航
- オーストラリア直行便 (カンタス航空、シドニー便、季節運航) が就航

<北海道長沼町> テレワーク拠点の提案概要

1) オフィス及び宿泊施設の概要

【テレワーク拠点】

○拠点名 ながぬまホワイトベース

- ・Wi-Fi、複合コピー機、プロジェクター、スクリーン、モニター等完備
- ・平成30年度総務省ふるさとテレワーク推進事業で整備
- ・テレビ会議室、個人用作業ブース、コワーキングスペースが利用可能
- ・料金 (hは1時間、dは1日)
 - 1か月利用 個人用 22,000円、コワーキング 18,000円
 - コワーキング 1h500円、2h1,000円、4hまで1,200円、1d2,400円
 - 会議室 1h1,000円 全面貸し切り 1h2,500円 (要予約)
- ・営業時間 月・火・木・金 10:00~18:00/水 13:00~21:00
土・日 休業 (長期利用等の場合は応相談)
- ・参照URL <https://www.facebook.com/NaganumaWhiteBase/>

【宿泊施設】

○施設名 ながぬま温泉

- ・1泊2食 (本館) 9,300円から、(別館) 7,700円から
- ・参照URL <https://hpdsp.jp/naganuma-onsen/>
- ・ながぬまホワイトベースへ、バスと徒歩で10分程度

○施設名 長沼町お試し暮らし体験住宅

- ・市街地に2棟、市街地から車で15分程度の農村地域に1棟
- ・家具、家電はある程度備え付け (寝具は持ち込み、町内でレンタルも可)
- ・2020年4月から市街地2棟にWi-Fi導入予定
- ・ながぬまホワイトベースへ、徒歩10分、自転車3分、自動車2分
(市街地のお試し暮らし体験住宅から)
- ・使用料 1日当たり
(2020年4月以降の予定額、光熱水費、Wi-Fi通信料含む)
 - 市街地 5月から10月 1,600円
 - 11月から4月 2,200円
 - 農村地域は市街地料金からそれぞれ200円割引 (Wi-Fi未設置)
- ・参照URL <https://www.maoi-net.jp/teijyu/otamesi.htm>

○施設名 Private Lodging ぶんぶく

- ・ながぬまホワイトベース2階のゲストハウス
- ・ながぬまホワイトベースへ階段を下りるだけ、徒歩0分
- ・施設概要 (金額はすべて税込み)
 - 洋室2、和室1 (定員 1室2~4名、最大10名程度)、素泊まりのみ
 - 洋室には空調、ベッドあり
 - 調理スペース (自炊可)、シャワーブース、洗濯機、Wi-Fi設置
 - アメニティなし
 - 付近に、コンビニ、コインランドリー、銭湯、町立病院など
 - 飲食店街、商店街にも徒歩圏内

<北海道長沼町> テレワーク拠点の提案概要

洋室ドミトリー 1泊 3,300円

洋室ツイン 1泊 1人 5,500円、2人 8,800円

ながぬまホワイトベース利用割引あり（滞在期間中施設利用 1日 500円）

農村・農業体験、体験観光などの滞在オプションにも対応可能

- ・連絡先 代表 坂本 bunbuk.naganuma@gmail.com

○施設名 蕪木エコ・グリーン

- ・ 1棟貸しの農家民宿
- ・ 上記のゲストハウス運営者が運営管理
- ・ 施設概要

戸建て住宅相当の建物

定員 4～5名、家族利用、チーム利用など

基本的に自炊、Wi-Fi、アメニティなし

ながぬま温泉まで徒歩圏内

1泊 13,200円（税込み）

農村・農業体験、体験観光などの滞在オプションにも対応可能

- ・連絡先 坂本 bunbuk.naganuma@gmail.com

2) 長沼町の代表的なレジャースポット、グルメの概要

【レジャースポット】

○ながぬま温泉 <https://hpdsp.jp/naganuma-onsen/>

○マオイゴルフリゾート <http://www.maoi-gr.com/>

○マオイオーランド

http://naganuma-kousya.main.jp/html/maoi_aland.html

○北長沼スキー場 <https://www.maoi-net.jp/shisetsu/0014.htm>

○ハイジ牧場 <https://www.heidi-farm.com/>

【グルメ】

○ジンギスカン（複数店舗）

○ファームレストラン（複数店舗）

○カフェ（複数店舗）

○長沼町観光協会ホームページ <https://naganuma-kanko.com/>

3) テレワークや今後のオフィス立地に関する長沼町の支援制度、その他サポート・インセンティブ（受入体制の工夫、地域との交流等）

【支援制度】

○町内全域が過疎地域指定を受けており、業種によっては税制上の特例あり

○資金的な補助はしていないが、テレワーク、進出等にあたっての相談には細やかに対応

○新千歳空港、近郊の駅などの送迎も対応（要相談）

○移住者や地域おこし協力隊員等のネットワーク、コミュニティが活発

<北海道長沼町> テレワーク拠点の提案概要

4) 受入可能人数及び受入可能期間

【人数】

○テレワーク拠点の利用想定

- ・個人ブースであれば2名程度（個人ブースの空き状況にもよります）
- ・テレビ会議室であれば6名程度
- ・コワーキングスペースであれば15～20名程度が収容可能

○宿泊施設

- ・ながぬま温泉は混雑気味なので、お早めの予約をお勧めします。
- ・お試し暮らし体験住宅は、原則3か月前から予約を受け付けします。
夏季は、利用が集中するのでお早めのご相談をお願いします。

【期間】

- オリンピック・パラリンピック開催期間はもとより、通年で対応します
- まずは、長沼町役場政策推進課が窓口となりますので、ご相談ください。

5) 長沼町役場 担当窓口

政策推進課企画政策係 山下 宏之

〒069-1392 北海道夕張郡長沼町中央北1丁目1番1号

TEL 0123-88-2111（内線322） / 0123-76-8015（直通） / FAX 0123-88-0888

E-mail h-yamashita@ad.maoi-net.jp / seisakusuishinka@ad.maoi-net.jp